

●「2016年 びわ湖トラストの集い」報告

◆ぷろろーぐ

2016年11月26日(土)、今年も大津市園城寺町の天台寺門宗総本山園城寺さまの寺務所を会場として「2016年びわ湖トラストの集い」を開催いたしました。

「びわ湖トラスト」がNPO法人としてスタートし今年で九年。

「認定NPO法人」として認定を受けて三年。支えてくださいます會員の皆さま、支援して下さっています各方面の皆さまに感謝をし、さらに會員の皆さま同士、繋がっていただきたい、というおもいで始めた「びわ湖トラストの集い」。今年は六回目。参加者総数八十八人で賑やかに集うことができました。

まことにありがとうございました。

◆第一部

会の第一部、三井寺執事長でもある福家俊彦理事の開会挨拶に始まり、熊谷道夫事務局長の「びわ湖とびわ湖トラストの近況報告」があり、講演会へ。

講演は、京都大学名誉教授で微生物生化学研究者である左右田健次先生の『生命の誕生と酒物語』という大変興味深いお話をうかがいました。先生ご自身は、ご実家が造り酒屋でありながら、お酒はニガテで大の甘党とか。お汁粉やぜんざいが大好きだそうです。《ワインは酒ならず。酒は酔うために飲み、ワインは生きるために飲む》という目からウロコ！ みたいな話に大いに共感いたしました。

左右田先生の講話のあと、福家執事長のご案内で、普段は公開されていない三井寺光浄院客殿(国宝)と庭園(国指定名勝史跡)を拝観。光浄院客殿は慶長6(1601)年建立されたもので、日本住宅の起源となった書院造りの代表的遺構です。また、室内の障壁画(重文)は狩野山楽の手になる桃山文化の粋。山裾を利用して枯滝の石組みを配した庭園も静寂の空間で、「光浄院が拝観できるなんて、トラストの會員になってよかった」と感想を言ってくくださった方もありました。

◆第二部

第二部はお楽しみの交流会。今年も近江に産した湖の幸、山の幸、川の幸、お酒も近江の地酒を準備いたしました。湖の幸、川の幸を準備して頂きましたのは高島市安曇川の「鮎池元吉本」さん、



↑三井寺ゆるキャラべんべん君



↑福家理事の挨拶で開会



↑左右田先生のご講演



↑国宝光浄院客殿を特別拝観

山の幸は高島市朽木の「山菜じゅうべえ」さんと「丸八百貨店」の婦人部の皆さま。そしてトラストの名物になってきた山本宗五郎理事自らが打って湯がく「宗五郎そば」。琵琶湖汽船さんが毎年沖島で漬けていらっしゃる「鮒ずし」。三井寺境内の茶店から名物「力餅」。近江の地酒は今年の中島拓男理事のこだわりで、大津市の平井酒造さんで調達。5種類の酒米のお酒を味わっていただきました。



↑山田理事長ご挨拶

交流会は、今年はチョット豪華！な演奏をお聞きいただきました。会員の村田三千雄さんのご尽力で、プロのテナーサクソ奏者西村有香里さん、キーボード神野麻里さんのしばしの演奏とおしゃべりを楽しんでいただき、後半は当会の元理事山本輝彦さんと橋本雅彦さんのギターの弾き語り。



↑神野麻里さん・西村有香里さん

最後はやっぱり！「琵琶湖周航の歌」をみんなで合唱。来年2017年は「琵琶湖周航の歌」が出来て百年になる、ということで六番までのフルコーラスを存分に歌いました。

◆えびろーぐ

三井寺境内はちょうど紅葉の真っ盛り。閉会后、境内のライトアップを楽しんでから帰途につかれた皆さまもいらしたようです。



「認定 NPO 法人 びわ湖トラスト」はこれからもびわ湖やびわ湖の源流の山々に視線を向け、そして関わり、少しでも健康な湖や山であるように、力を注いでまいります。今後ともどうぞよろしくご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。



(「びわ湖トラストの集い」担当 西本椰枝)